

ケアポート板橋・舟渡デイサービス/居宅

症 例 概 要 80代 男性 要介護1

R6.4アルツハイマー型認知症、不詳：ビタミンB1欠乏症

経営していた蕎麦屋を7年前に閉じる。その後、外出や交流も極端に減り、朝から飲酒するなどアルコール中毒での入院歴もあった。そんな父親を見ていた娘さんが「社交的で笑顔の絶えない父親に戻ってほしい。」との希望でデイサービスに通われ徐々に笑顔も戻る。娘も同業でキッチンカーを営み、父親に「自分が働いている姿を見せたい」との希望と笑顔が戻ってきた感謝の意を込めて【ケアポート盛り上げ隊】を結成して下さり、実際に働いている姿を見せることができた症例。

内 容

R6.6初回面談。元々蕎麦屋を営んでおられましたが7年前に店を閉じ、自宅にこもり朝から飲酒するなど生活が乱れておりました。徐々に飲酒量が増しアルコール依存症と診断。入院歴もあり、外出の頻度や他者との交流が極端に減り、無表情で無気力な生活となってしまいます。

R6.4に医療機関受診し、両側海馬の萎縮がありアルツハイマー型認知症と診断。娘さんの「以前のよう社交的で笑顔の絶えない父親に戻ってほしい。」との強い希望がありデイサービスを利用を開始することとなりました。

R6.7より週1回でデイサービスの利用を開始。利用された日は帰宅すると表情も豊かでデイサービスでの出来事を楽しそうに話して下さったとのこと。デイサービスでの様子は、穏やかに過ごされ活動や行事・機能訓練を熟されているも、飲酒については変わらず、デイサービス以外の日は朝から飲酒している状況が続いてしまいます。

デイサービス以外の日は、自宅にいたことが多く飲酒量も変わらず、R6.9より飲酒の機会を減らす事を目的として、デイサービスの利用を週2回に増回。ほとんど休まずデイサービスに通われ、活動や行事・機能訓練には積極的に参加されるようになっていきました。

その後、デイサービスを週2回から週3回に増やし、生活のリズムも整いだし規則正しい生活が送れるようになりました。妻と一緒に散歩したり、時には1人で近所を散歩する等、生活は変化していきました。その反面、認知症が進行してきているのか、その日のデイサービスでの様子を忘れてしまう事が多くなり、「デイサービスでご飯を食べていない、何もしていない」等、娘さんがその日の様子を聞いても上手く答えることができなくなってしまいます。

そのような中で、娘さんがご本人と同業であることで「少しでも記憶力が残っている時に、自分の働い

ている姿を見せたい、喜ばせたい。」との強い希望と、ご本人の笑顔が戻ってきた事への感謝を込めて、ご本人がデイサービスを利用しているケアポートにキッチンカーをお願いできないかと提案をしてくださりました。

R7.1事務局との数回の打ち合わせを経て、娘さんが所属するキッチンカーとも連携し、同月キッチンカーが1日2台配車されることになりました。ご本人がデイサービスを利用している日時に合わせ、娘さんはキッチンカーで来所され、仕事をされている様子を、ご本人に見て頂きました。

実際に娘さんの仕事ぶりを見て照れくさい様子でしたが、娘さんは実際に働いている姿を父親に見せられた喜びで笑顔が絶えず、後に娘さん自ら【ケアポート盛り上げ隊】を結成され、職員の福利厚生にも貢献して下さいました。

他部署連携によるご利用者の生活改善、通所介護のご利用者回数増、地域貢献及びケアポートのファンを作ることができたこの事例は、まさにOurteam経営であると考え、推薦させていただきます。